D.I.質問箱

今回は骨粗鬆症担当の志谷（したに）がお答えいたします。

Q29

骨塩定量検査（DIP 法）の報告書に時系列の検査結果も報告されていますが、履歴の管理・制約を教えてください。

A29

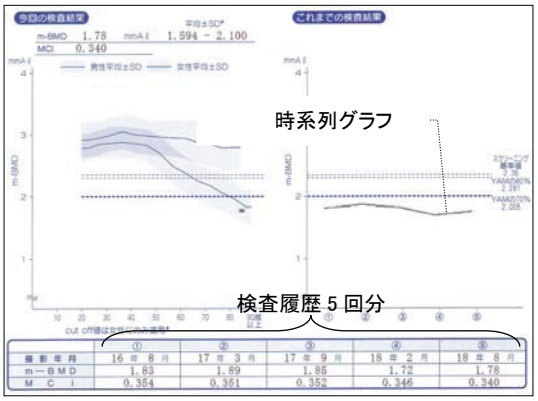
「ご質問ありがとうございます。」

■検査から検査までの期間が 2 年間開くと、新規として登録されますのでご注意ください。
※以前の検査データが消去されます。

■検査間隔が 2 年を超えなければ、5 回の検査履歴と時系列グラフが報告されます。

■骨塩定量検査は、骨粗鬆症の診断およびその経過観察の際のみ算定できます。
※ただし、4 ヶ月に 1 回を限度とします。

報告書（サンプル）



お問合せ：学術データインフォメーション（D.I.）まで
0120-14-8734（フリーダイヤル）／082-247-4325（ダイヤルイン）

きゃっちぼーる

実りの秋、我が家もお米の収穫が終わり一息ついています。そして秋祭りの季節です。お正月…お盆…秋祭り、子供の頃この日が来るのを楽しみにしていたものです。

普段食べることのできないごちそうが並び、特に秋祭りでは、「なし」「りんご」「ぶどう」「みかん」「柿」「栗」などの果物も食べることができる特別の日だったからです。

最近あの当時の感動が薄れてきています。おいしいものはいつでも食べられ、果物だっていつでも手に入る、贅沢な時代になったものです。そう私にとっては『食欲の秋』。

“もったいない”の教えを守っている私は、今年も体重の気になる時季を迎えます。

正木　篤志（業務システム課課長補佐）

広報委員
松本 道雄 / 藤本　誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡　博